



2012年3月期 業績に関する説明会



2011年8月4日
東日本旅客鉄道株式会社

目次



I 東日本大震災からの復旧状況と

2012年3月期第1四半期決算のポイント

東日本大震災からの復旧状況	4
東日本大震災後の状況	5
2012年3月期第1四半期決算のポイント(連結)	6
2012年3月期第1四半期決算のポイント(単体)	7
第1四半期における東日本大震災の影響	8

II 2012年3月期業績見通し 概要

2012年3月期業績見通し(連結)	10
2012年3月期業績見通し(単体)	11
キャッシュの使途	12
3か年目標、中長期達成イメージ	13

III 2012年3月期業績見通し 単体

2012年3月期 鉄道運輸収入の計画 (1)～(3)	15
単体営業費用 実績と計画	18
動力費(単体)見通しの考え方	19
単体営業利益 計画イメージ	20

IV 2012年3月期業績見通し 連結

運輸業 実績と計画	22
駅スペース活用事業 実績と計画	23
ショッピング・オフィス事業 実績と計画	24
その他 実績と計画	25
設備投資額の推移(連結)	26
設備投資額の内訳(単体)	27

V 津波被害を受けた沿岸線区について

津波被害等により運転を見合わせている沿岸線区	29
津波被害を受けた沿岸線区の復旧について	30

I 東日本大震災からの復旧状況と 2012年3月期第1四半期決算のポイント

東日本大震災からの復旧状況



■新幹線(東北新幹線)

		徐行区間	運転本数(震災前比)
4月29日	全線運転再開	那須塩原 ~ 盛岡	86%
7月9日	徐行区間短縮	福島 ~ 一ノ関	96%
今年秋頃	完全復旧	—	100%

■在来線

【主要路線】

路線	全線運転再開
東北本線	4月21日
奥羽本線	4月11日
羽越本線	4月9日

【三陸沿岸方面への輸送確保】

路線	区間	開通日
石巻線	(古川~)小牛田~石巻	5月19日
大船渡線	一ノ関~気仙沼	4月18日
釜石線	花巻~新花巻~釜石	4月12日
山田線	盛岡~宮古	4月13日

東日本大震災後の状況



■鉄道営業収入

(対前年比 %)

	定期			定期外			合計
	新幹線	在来線	計	近距離	中長距離	計	
3月	79.7	94.0	93.4	73.5	57.9	64.1	72.4
4月	85.6	98.3	97.8	89.3	64.4	74.0	82.6
5月	109.4	101.7	102.1	93.8	89.1	91.1	94.0
6月	86.2	97.8	97.1	98.6	95.9	97.0	97.0
7月速報	97.4	97.4	97.4	97.9	97.7	97.7	97.6

*取扱ベース(速報)であり、当社の運輸収入とは異なります。

■非運輸業 (売上高)

(対前年比 %)

	物販・飲食	駅ビル	ホテル
3月	79.4	75.6	59.1
4月	84.3	98.3	65.7
5月	96.1	99.0	80.9
6月	101.5	107.2	91.4

2012年3月期 第1四半期決算のポイント(連結)



(単位:億円)

	2010.6		2011.6		2011.6/2010.6
営業収益	6,310		5,689		△621 (90.2%)
営業利益	1,157		781		△375 (67.6%)
運輸業	4,316	860	3,810	509	[減収減益] 震災によるJR東日本の運輸収入減
駅スペース活用事業	986	88	905	65	[減収減益] 震災による消費自粛や出控えによる減収
ショッピング・オフィス事業	546	166	550	180	[増収増益] バーゲン前倒し、アトレ吉祥寺(平年度化)
その他	461	33	423	19	[減収減益] 広告不調、ホテル減収(外国人旅行者減)
調整額		7		7	
経常利益	912		548		△363 (60.1%)
四半期純利益	451		223		△227 (49.6%)

2012年3月期 第1四半期決算のポイント(単体)



(単位:億円、%)

	2010.6	2011.6	2011.6/2010.6		記事
			増減	(%)	
営業収益	4,593	4,071	△521	88.6	
運輸収入	4,051	3,571	△480	88.1	定期収入△37、定期外収入△443
その他の収入	541	500	△41	92.4	広告料収入△12、旅行業収入△9
営業費用	3,585	3,420	△164	95.4	
人件費	1,204	1,161	△43	96.4	
物件費	1,299	1,172	△126	90.3	
動力費	154	107	△47	69.4	
修繕費	386	338	△47	87.6	
その他	757	726	△31	95.9	
機構借損料等	191	206	+15	108.2	東北新幹線(八戸～新青森)
租税公課	210	195	△14	93.2	
減価償却費	680	683	+3	100.5	
営業利益	1,007	650	△357	64.6	
経常利益	772	444	△328	57.5	
四半期純利益	408	184	△224	45.2	

第1四半期における東日本大震災の影響



■損益影響額(2012年3月期第1四半期)

	単体	連結
【営業収益】	△520億円	△620億円
【特別損失】	92億円	93億円
災害による損失	0億円	1億円
災害損失引当金繰入額	92億円	92億円

*地震保険(土木構造物保険 地震特約)の受取保険金収入

⇒ 未計上(保険金額や支払時期が未定のため)

II 2012年3月期業績見通し 概要

2012年3月期 業績見通し(連結)



(単位:億円)

	2011.3(実績)	2012.3 計画	2012.3/2011.3		
営業収益	25,373	24,990	△383 (98.5%)		
営業費用	21,922	21,920	△2 (100.0%)		
営業利益	3,450	3,070	△380 (89.0%)		
運輸業	17,219	2,271	16,860	2,040	[減収減益]運輸収入減少
駅スペース活用事業	3,858	313	3,930	330	[増収増益]新規開業、平年度化
ショッピング・オフィス事業	2,232	642	2,260	610	[増収減益]新規開業、駅ビル閉店、開業経費
その他	2,062	230	1,940	100	[減収減益]システム開発関連・IC関連売上反動減
調整額		△7		△10	
経常利益	2,545	2,140	△405 (84.1%)		
当期純利益	762	1,050	+287 (137.8%)		

2012年3月期 業績見通し(単体)

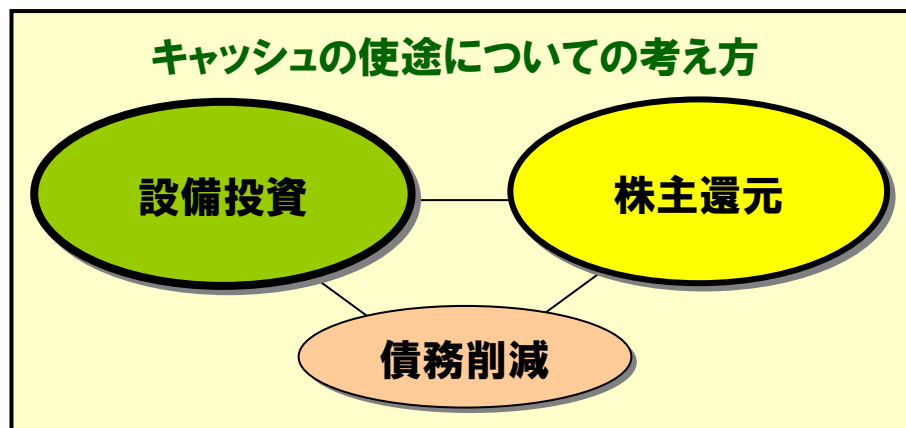


(単位:億円)

	2011.3(実績)	2012.3 計画	2012.3/2011.3
営業収益	18,302	17,970	△332 (98.2%)
運輸収入	16,092	15,790	△302 (98.1%)
営業費用	15,492	15,360	△132 (99.1%)
営業利益	2,810	2,610	△200 (92.9%)
	<p>The chart displays two groups of bars. The first group represents 2011.3 actual performance, with a blue bar for operating income at 18,302 and a green bar for operating profit at 2,810. The second group represents 2012.3 planned performance, with a blue bar for operating income at 17,970 and a green bar for operating profit at 2,610. Yellow arrows point to the top of the 2012.3 bars, indicating a decrease of 332 for operating income and 200 for operating profit compared to 2011.3.</p>		
経常利益	1,950	1,720	△230 (88.2%)
当期純利益	594	880	+285 (148.1%)

キャッシュの使途

■ 基本的考え方



■ 2012年3月期の考え方

使途	考え方	2011.3 実績	2012.3 計画
設備投資 [うち成長投資]	必要な投資を進める方針は維持 キャッシュの状況を見ながら対応	4,258億円 [1,333億円]	3,660億円 [1,380億円]
株主還元 (現金配当、自社株式取得等)	配当金: 据え置き (当面の目標: 連結配当性向30%)	1株あたり110円 (57.1%)	1株あたり110円 (41.4%)
	自社株取得: 状況を見極め	-	-
長期債務削減	長期債務は増やさない方針 キャッシュの状況を見ながら対応	265億円	(未定)

3か年目標、中長期達成イメージ



■ **3か年目標**

➡ **検討中**

■ **中長期計画**

「グループ経営ビジョン2020-挑む-」
2018年3月期 達成イメージ

➡ **見直し**

グループ経営ビジョンの基本的な方向性は変えない
計画しているプロジェクトは、着実に実行していく

III 2012年3月期業績見通し 単体

2012年3月期 鉄道運輸収入の計画(1)



■計画

		2012年3月期 計画	
鉄道運輸収入		15,790億円 対前期:△301億円 (前期比:98.1%)	上期:92.6% 下期:104.0%
増減要素	うるう年	+30億円	
	東日本大震災反動増	+400億円	
	トレンドその他	△731億円	【考慮要素】 ・東日本大震災による減収 ・高速道路施策の終了 (週末1,000円、無料化社会実験) ・新青森開業効果 など
		【考慮していない要素】 ・東北地方の高速道路全面無料化	

2012年3月期 鉄道運輸収入の計画(2)



■推移

(対前年比 %)

	上期			下期 (*1)	通期
	1Q実績	2Q	合計		
定期	97.0	97.9	97.5	99.9 (99.6)	98.7
定期外	84.1	96.4	90.6	105.9 (97.9)	97.9
関東圏	89.6	97.6	93.6	106.8 (99.4)	99.9
新幹線	77.1	97.1	87.8	105.4 (96.1)	96.2
合計	88.1	96.9	92.6	104.0 (98.4)	98.1

[参考]

トレンドその他の想定シナリオ
(うるう年・東日本大震災反動増を含まない)

4Qに概ね100%まで回復

近距離:3Qに概ね100%まで回復

東北新幹線:
年度末時点で90%台後半に回復
上越・長野新幹線:
3Qに概ね100%まで回復

【今後の不確実要素】

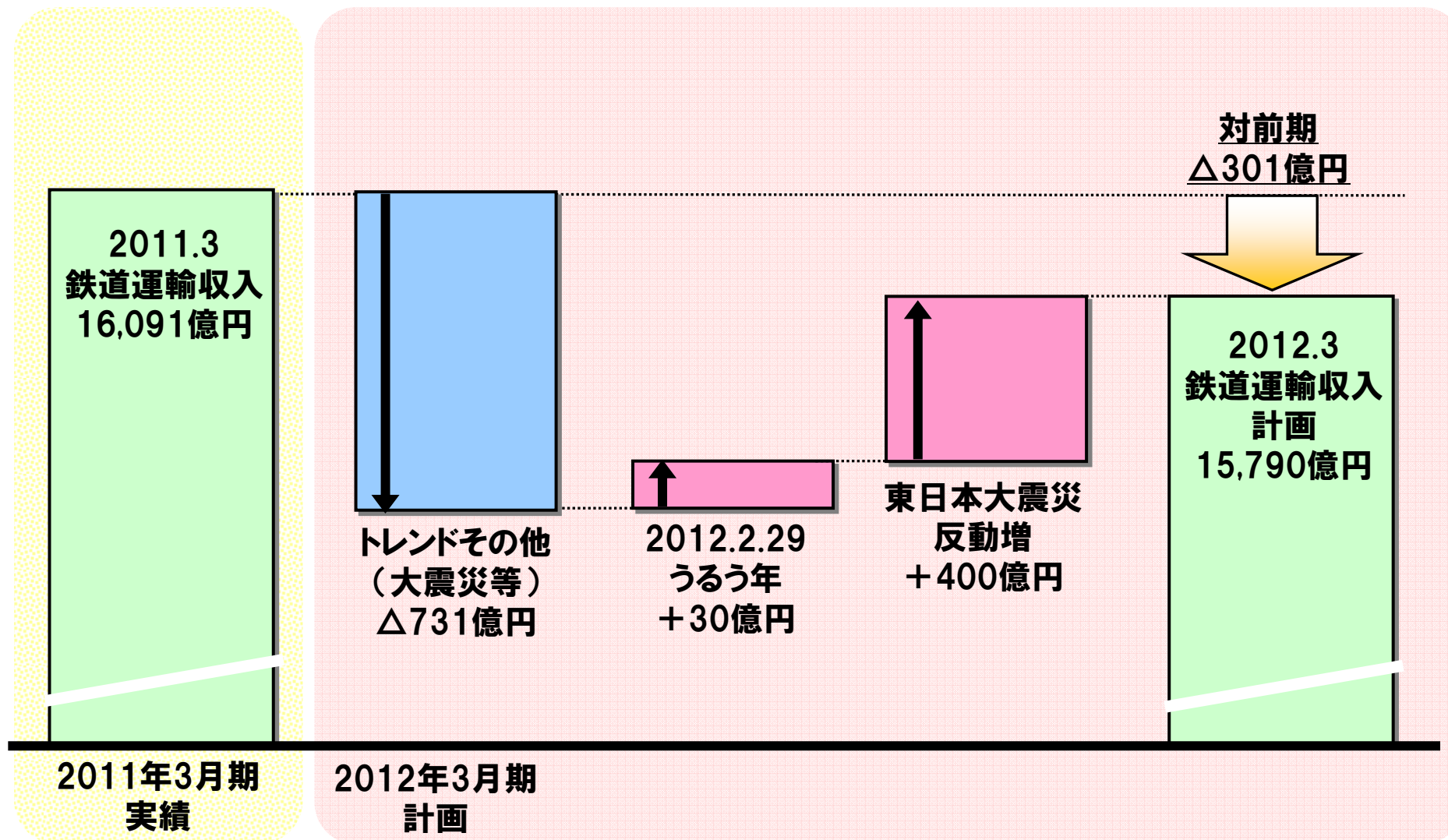
・東北地方の高速道路無料化

(*1) 「下期」欄の()内の数値は、うるう年・東日本大震災反動増を除いた推移

2012年3月期 鉄道運輸収入の計画 (3)



■鉄道運輸収入の増減分析



単体営業費用 実績と計画



(単位:億円)

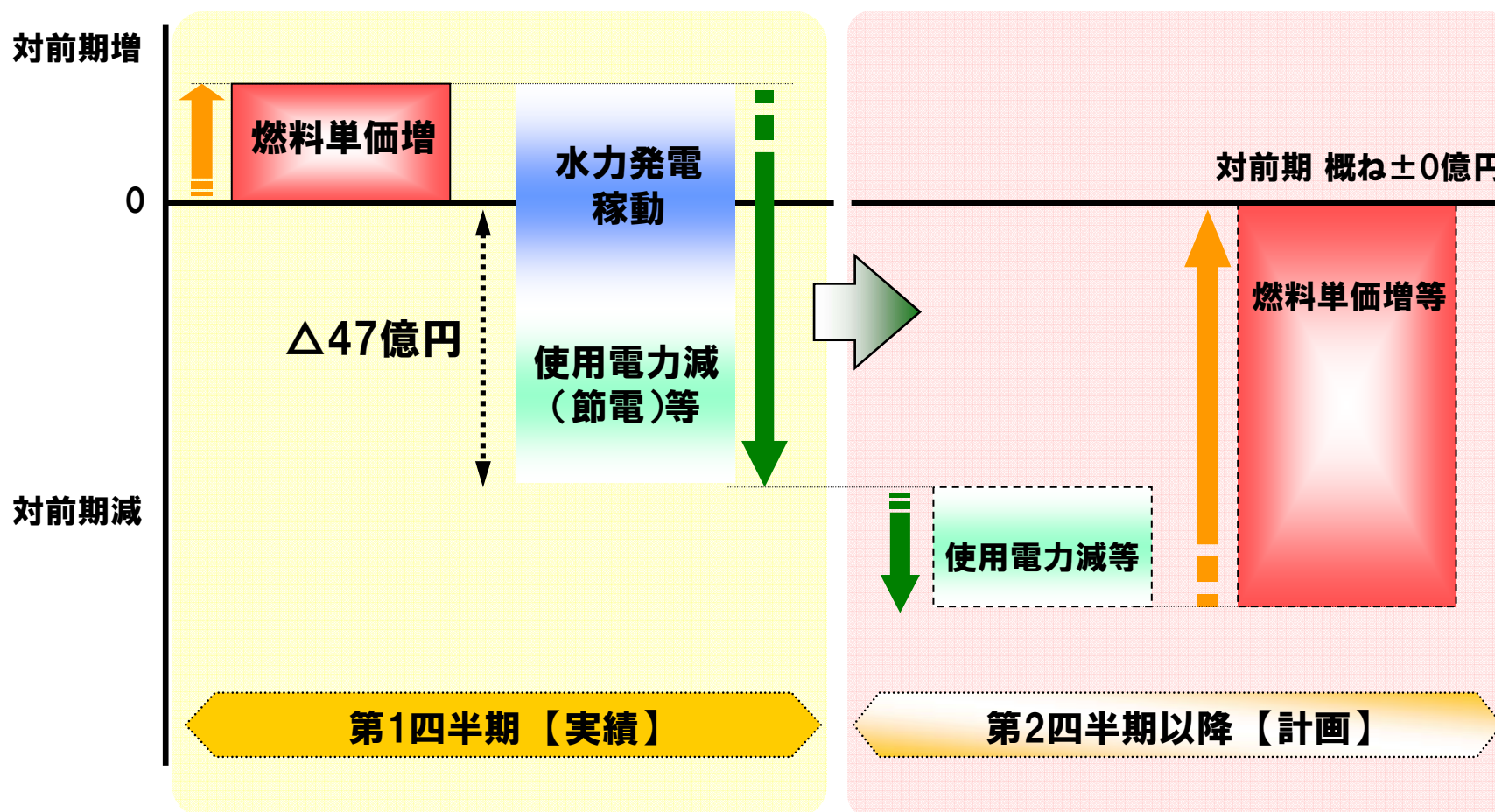
	2011.3 実績	2012.3 計画	12.3/11.3		主な要因
			増減	(%)	
営業費用	15,492	15,360	△132	99.1	
人件費	4,795	4,640	△155	96.8	・社員数の減少 ・賞与支給実績減 ・退職給付費用減
物件費	6,211	6,060	△151	97.6	
動力費	610	610	△0	99.9	・震災による運休、節電(電力需給対策) ・燃料価格上昇
修繕費	2,143	2,070	△73	96.6	・2011年3月期予定工事の繰越し増 ・工期の見直し等による減
その他	3,457	3,380	△77	97.7	・バス代行輸送に伴う経費 ・情報処理費の減
機構借損料等	785	840	+54	106.9	・東北新幹線(八戸～新青森)
租税公課	811	840	+28	103.5	・固定資産税の増加
減価償却費	2,888	2,980	+91	103.2	・固定資産の増加

動力費(単体)見通しの考え方

第1四半期実績は△47億円 ⇒ 通期では△0億円

■第1四半期実績

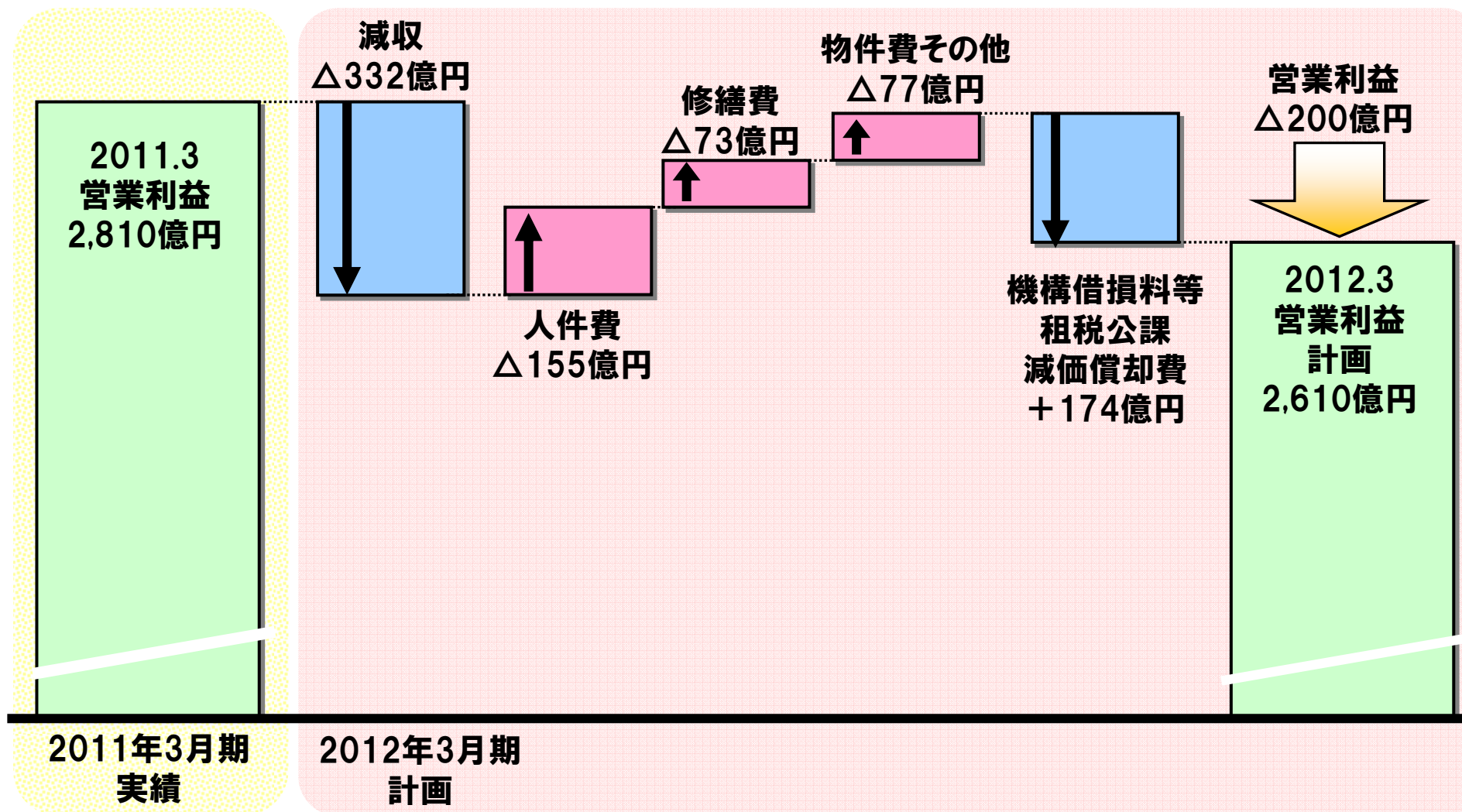
■第2四半期以降の見通し



単体営業利益 計画イメージ



■営業利益の増減分析



IV 2012年3月期業績見通し 連結

運輸業 実績と計画



(単位:億円)

	2010.6	2011.6	11.6/10.6	2012.3計画	12.3/11.3
営業収益	4,316	3,810	△506 88.3%	16,860	△359 97.9%
営業利益	860	509	△351 59.2%	2,040	△231 89.8%

2012年3月期第1四半期 営業収益の主な増減要因

JR東日本	△501	大震災
ジェイアールバス東北	△2	大震災

東日本大震災による減収:約520億円

2012年3月期 トピックス

- ・青森デスティネーションキャンペーン (2011.4~7)
- ・群馬デスティネーションキャンペーン (2011.7~9)
- ・東北新幹線新青森延伸 (2010.12.4)

(注)営業収益:外部顧客への売上高

営業利益:外部顧客への売上高+セグメント間売上高-外部仕入-セグメント間仕入

駅スペース活用事業 実績と計画

(単位:億円)

	2010.6	2011.6	11.6/10.6	2012.3計画	12.3/11.3
営業収益	986	905	△80 91.8%	3,930	+71 101.8%
営業利益	88	65	△23 73.7%	330	+16 105.2%

2012年3月期第1四半期 営業収益の主な増減要因

JR東日本リテールネット(Jリテール)	△27	大震災
日本レストランエンタプライズ(NRE)	△23	大震災、駅改良工事閉店
ジェイアール東日本フードビジネス	△13	駅改良工事閉店
JR東日本ステーションリテイリング	△8	大震災

東日本大震災による減収:約60億円

2012年3月期 トピックス

- ・東京駅 NorthCourt (2010.12.4開業)
- ・エキナカ商業施設リニューアル
東京駅 Keiyo Street (2011.3.20全面開業)
エキュート上野 (2011.3.31全面開業)
エキュート品川サウス (2011.5.16全面開業)
エキュート赤羽 (2011.9.23全面開業予定)

[参考] 月次の動向 既存店ベース (前年同月比 %)

	4月	5月	6月
Jリテール	82.2	94.6	100.2
NRE (*)	71.9	89.9	97.0

(*) NREはホテル事業を除く

(注)営業収益:外部顧客への売上高

営業利益:外部顧客への売上高+セグメント間売上高-外部仕入-セグメント間仕入

ショッピング・オフィス事業 実績と計画

(単位:億円)

	2010.6	2011.6	11.6/10.6	2012.3計画	12.3/11.3
営業収益	546	550	+4 100.7%	2,260	+27 101.2%
営業利益	166	180	+13 108.0%	610	△32 95.0%

2012年3月期第1四半期 営業収益の主な増減要因

ルミネ	+12	夏バーゲン前倒し
アトレ	+5	アトレ吉祥寺リニューアルオープン 平年度化
千葉ステーションビル	△3	建替えのための閉店
横浜ステーションビル	△9	建替えのための閉店

2012年3月期 トピックス

- ・2011年3月期オープン店舗
アトレ吉祥寺、セレオ八王子、アトレ秋葉原1
- ・水戸駅「エクセルみなみ」(2011.6.23全面開業)
- ・ルミネ有楽町店(2011.10下旬開業予定)
- ・建替えのための駅ビル閉店
千葉(2011.1.31)、横浜(2011.3.27)

〔参考〕月次の動向 既存店ベース (前年同月比 %)

	4月	5月	6月
ルミネ	105.1	100.3	118.6
アトレ	109.2	108.9	114.2

(注) 営業収益：外部顧客への売上高
営業利益：外部顧客への売上高＋セグメント間売上高－外部仕入－セグメント間仕入

その他 実績と計画

(単位:億円)

	2010.6	2011.6	11.6/10.6	2012.3計画	12.3/11.3
営業収益	461	423	△38 91.7%	1,940	△122 94.1%
営業利益	33	19	△13 58.7%	100	△130 43.3%

2012年3月期第1四半期 営業収益の主な増減要因

ジェイアール東日本企画	△15	大震災
日本ホテル	△12	大震災
ジェイアール東日本メカトロニクス	△9	ICカード関連機器売上 反動減
仙台ターミナルビル	△5	大震災

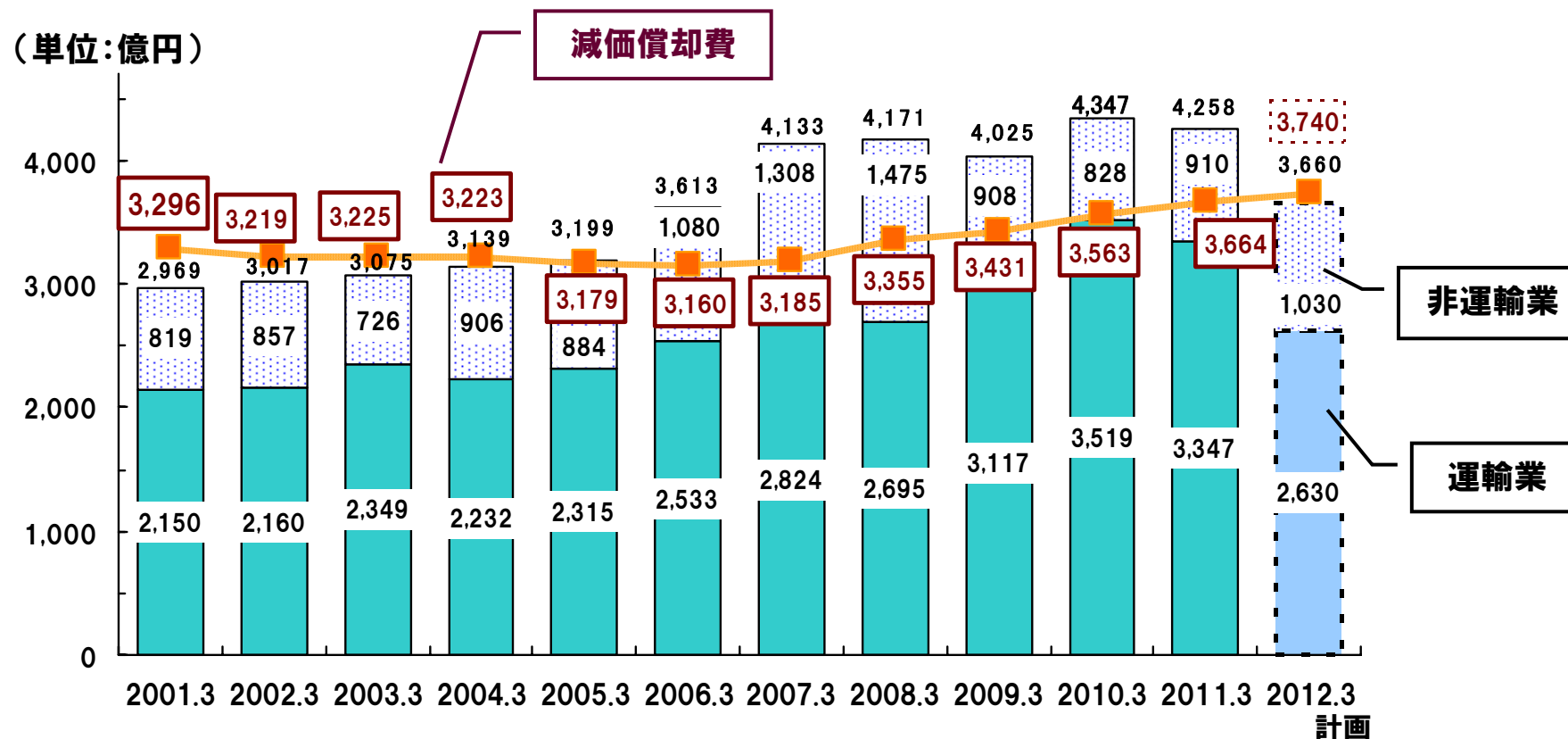
東日本大震災による減収:約40億円

2012年3月期 トピックス

- ・ホテルメッツ横浜鶴見 (2010.10.22開業)
- ・2011年3月期の反動減

(注)営業収益:外部顧客への売上高
 営業利益:外部顧客への売上高+セグメント間売上高-外部仕入-セグメント間仕入

設備投資額の推移(連結)



2011年3月期 実績

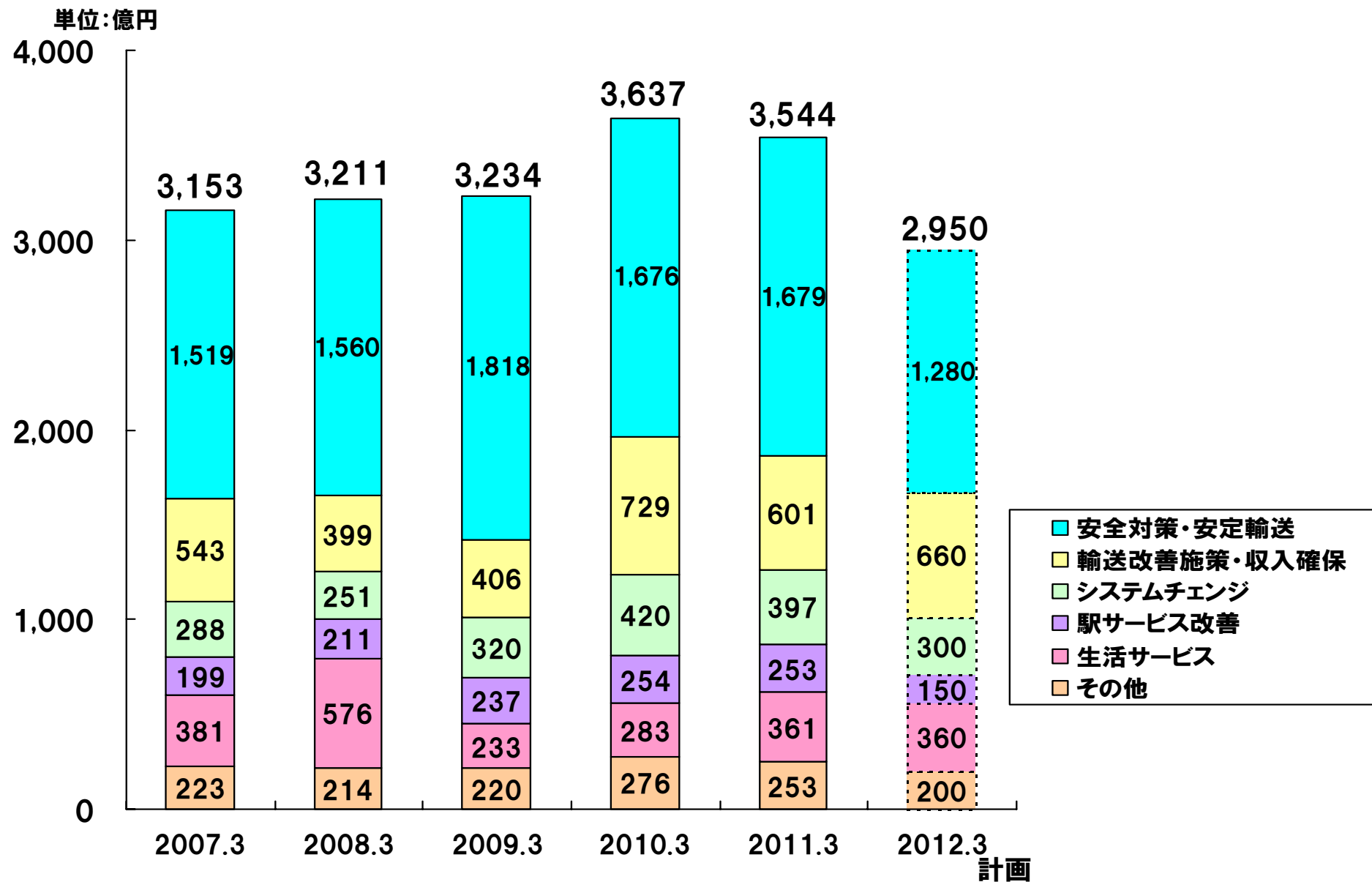
	運輸	非運輸	合計
成長投資	479	854	1,333
維持更新(*)	2,869	56	2,925
合計	3,347	910	4,258

(*) 維持更新=事業の継続的運営に必要な投資

2012年3月期 計画

	運輸	非運輸	合計
成長投資	430	950	1,380
維持更新(*)	2,200	80	2,280
合計	2,630	1,030	3,660

設備投資額の内訳(単体)



V 津波被害を受けた沿岸線区について

津波被害等により運転を見合わせている沿岸線区



線名	区間	営業 キロ	現状	備考
常磐線	久ノ浜～原ノ町	62.9	久ノ浜～広野 バス代行	福島第一原発 警戒区域(20km圏内) 緊急時避難準備区域
	原ノ町～亶理	47.7	バス代行	復興調整会議 (相馬～亶理)
仙石線	高城町～矢本	15.9	バス代行	復興調整会議
石巻線	石巻～女川	17.0	バス代行	復興調整会議
気仙沼線	柳津～気仙沼	55.3	路線バス振替	復興調整会議
大船渡線	気仙沼～盛	43.7	路線バス振替	復興調整会議
山田線	宮古～釜石	55.4	路線バス振替	復興調整会議
八戸線	階上～種市	6.7	バス代行	8月8日運転再開予定
	種市～久慈	30.7	バス代行	2012年度初 運転再開予定
合計		335.3	キロ	
〔備考〕				
岩泉線	茂市～岩泉	38.4	バス代行	土砂崩壊により 運転見合わせ中

■ 基本的な考え方

地域全体の復興や「まちづくり」の計画策定と一体となって、国・地方自治体と協議しながら進めていく。

■ 政府への支援・協力の要望

(2011年4月30日 国土交通大臣に要望書を提出)

1. 「まちづくり」と一体となった復旧計画の策定

(当社も積極的に参画)

2. 用地の確保に関する支援

(鉄道路線のルートが変更となる場合)

3. 復旧に向けた公的支援

(新しい財源スキーム、新技術を活用した復旧手法の検討)

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR東日本ホームページ「企業・IR・採用情報」→「決算説明会」

<http://www.jreast.co.jp/company>

将来の見通しの記述について

このレポートに記載されているJR東日本グループの現在の計画、戦略、確信などのうち、過去の事実以外のものはJR東日本グループの将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の仮定と確信に基づくものであります。これらの将来見通しの記述は、既に知られているリスク、知られていないリスクや不確かさ、その他の要因などを含み、JR東日本グループの実際の経営成績、業績などはこのレポートに記載した見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には以下のようなものなどが含まれます。

①鉄道事業の現在の利用者数を維持または増加させるJR東日本グループの能力、②鉄道事業その他の事業の収益性を改善するJR東日本グループの能力、③鉄道事業以外の事業を拡大するJR東日本グループの能力、④日本全体の経済情勢や法規制、日本政府の政策など。